

市議会だより

編集 議会だより編集委員会

発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



星城高校時代の両選手

(写真は星城高校提供)

2016リオデジャネイロオリンピック バレーボール世界最終予選兼アジア大陸予選大会に合わせ、6月2日(木)星城高校で、パブリックビューイングが行われました。

日本はリオ・オリンピック出場が叶えられませんでした。星城高校を卒業したセッターの深津英臣選手とエースの石川祐希選手を応援しようと、生徒のみなさんが熱い声援を送り、この日の強豪フランス戦は勝利しました。今後の活躍を期待しています。

平成28年6月定例月議会

あんない

決まった主なことから	P2
議会改革推進協議会	P2
議案等の審議結果(6月)	P3
討論	P4~P6
一般質問(個人17名)	P7~P15

議案等の審議結果

報告及び全会一致で可決した議案等

議案等番号	件名
報告 6	平成27年度豊明市一般会計予算の継続費に係る繰越報告
報告 7	平成27年度豊明市一般会計予算の繰越明許費に係る繰越報告
報告 8	平成27年度豊明市土地開発公社決算並びに平成28年度豊明市土地開発公社事業計画及び予算の報告
	議員派遣の件
議案63	財産の買入れ（高規格救急自動車）
議案64	財産の買入れ（食器洗浄機）
議案65	字区域の変更
議案70	豊明市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
議案73	豊明市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

議案等番号	件名
議案74	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第2号）
議案76	平成28年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計予算
議案77	豊明市水上太陽光発電事業特別会計設置に関する条例の制定
議案78	豊明市水上太陽光発電事業管理基金条例の制定
議案79	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第3号）
議案80	教育長の任命
議案81	教育委員会の委員の任命
	議案第68号 豊明市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び豊明市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例を定める条例の廃止の撤回の件

全会一致でない議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会 派 名	新風とよあけ					ひまわり					公明党 市議団	市政改 革の会		緑の風							
	議 員 名 件 名	富 水 秀 一	後 藤 学	宮 本 英 彦	ふ じ え 真 理 子	近 藤 善 人	杉 浦 光 男	鶴 飼 貞 雄	毛 受 明 宏	近 藤 郁 子	三 浦 桂 司	村 山 金 敏	近 藤 千 鶴	一 色 美 智 子	早 川 直 彦	山 盛 さ ち え	近 藤 裕 英	蟹 井 智 行	郷 右 近 修	清 水 義 昭	月 岡 修 一	
議 案 6 2	工事請負契約の変更（国庫補助事業 道路築造工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議 <

決まった主なことがら

6月定例会月議会は、平成28年6月6日から6月28日までの23日間にわたり開催し、議案19件等を審議しました。

人事案件

◎教育長の任命（敬称略）

任期満了（7月31日）に伴い、次の方の任命に同意しました。

伏屋 一幸（任期は3年）

（沓掛町）

◎教育委員会の委員の任命

任期満了（7月31日）に伴い、次の方の再任に同意しました。

市野 光信（任期は4年）

（二村台）

豊明市議会議会改革推進協議会

豊明市議会改革推進協議会2年目の今年度も市民の皆様信頼を得られる議会であるために全力で活動していきます。

【今年度の協議事項】

平成23年6月に制定された豊明市議会基本条例を再確認し、市政の発展と市民の生活と福祉の向上に寄与するという目的のため、機能発揮に必要な見直しを図ります。

①議会報告会

昨年同様、開催します。

昨年は参加者とのグループミーティングが好評でしたので、今年もプログラムに入れることになりました。詳細は改めてご案内いたします。

②議員の定数・報酬

今期の市議選で争点にした議員もあり、議会基本条例に則り、見直す点など、議会がどうあるべ

きかを真摯に協議していきます。

③議会ＩＴ化

先進的とされる議会では既にＩＴ化が進み、当

市議会でも本会議、委員会のインターネット録画放映が行われて、議会の会議の様子を身近にご覧いただけます。更に多くの市民が身近に思える議

会を目指してＩＴ化の下調べをする作業チームを作り、ＩＴ化を進めるとどの位の費用がかかるのか、その費用対効果などを検証することになりました。

※議会改革度ランキングでは、豊明市議会が全国の県市区町村のうち1460議会中90番目にランク付けされました。評価方法は画一的であるものの改革の結果と受け止め、更に上位を目指していきます。

市民のための議会であると感じていただけるよう活動していきます。

「熊本地震義援金」街頭募金活動

熊本地方を震源とする地震により、九州各地に大きな被害が発生しました。

豊明市議会として、被災された方々への支援をしたいという想いから、6月22日に、ピアゴ豊明店、サンフレッシュ豊明本店、前後駅前募金活動を行い、総額で3万8605円が集まりました。



募金活動を行った前後駅

6月27日、議会を代表して月岡議長と近藤副議長が、中日新聞社会事業団事務局に皆様からの募金と各議員の募金をあわせ、届けさせていただきました。

募金は、中日新聞社会事業団を通じ、被災各県の災害対策本部などに届けられる予定です。



中日新聞社会事業団にて

皆様の温かいお気持ちにあたためて感謝申し上げます。

被災地の1日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



議案等に対する

討

論

（議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。）

◆新風とよあけ◆

反対。看過できない！

委員会議決後の撤回、即再提出

下水道と農村集落家庭排水施設使用料の料金改定に関連する3議案が、委員会で否決された後に撤回。即再提出となった。以下の理由から反対した。

◆市民への説明会7人
市民向け説明会の出席者はたったの7人（議員除く）。多くの市民生活に影響が及ぶ案件であり、意見を聴くという本気度がみえない。広報紙や市ホームページ掲載への告知だけでなく、前回の値上げ時のように地域に出

向くことや、町内回覧板等の方法もあったのでは。説明会を開催したという実績づくりと言われても仕方ない。

◆説得力欠く引上げ理由
料金改定（平均8%増）の理由は一般会計からの繰入金6・5億円を減らしたいとの説明。しかし、その中には都市計画税4・5億円が含まれている。都市計画税は下水道事業など用途限定の目的税であり、納税者は市街化区域の方。一般財源ではない。一般財源からの繰入金は約2億円程度である。いわんや農村集落家庭排水施設特別会計の一般会計からの繰入金は僅か200万円。説得力欠く引上げ理由である。

◆ひまわり◆

議案第76号 平成28年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計予算に賛成
議案第83号 豊明市下水道条例の一部改正について賛成

【第76号】 水上太陽光発電に関しては、平成20年第3回定例会で市の考えを固めました。当局は本事業を継続的に検討していましたが、今回は市長の行政判断により大きく動いたと伺えます。

今後は5億4千万円の初期費用を回収する計画をしっかりと立てていただきたい。正確なランニングコストも不明で、震災で損害が出た場合の損失補填はどうするのか。もし、独立採算が採れない場合は、本事業の評価は大きく失墜してしまいます。また、過去20年の実績が無いため、想定されない事態が発生した際の対応も検討してください。

【第83号】 下水道事業における一般会計からの繰入金を是正する事が目的の一つです。
受益者負担の原則により下水道と直接関係のない地域住民の公平性を図るものです。また、一般会計からの繰入れを続ければ将来に渡り、子や孫の世代に負担を強いるもので、税の公平性の観点から、今改正する事が妥当と判断し賛成します。

◆公明党市議団◆

平成28年度豊明市一般会計補正予算（第2号）について賛成

今回の補正予算は、平成28年度当初予算であります「未来への架け橋予算」を補完する政策的なおもむきの強い補正予算となりました。繰越事業とも併せて当初予算一体となり、市民の期待にこたえる、希望あふれるまちづくりへのスタートとなっています。

市長の設置した牽引役の組織機構がいよいよ動き出すということが確認できました。執行にこだわりをもち、未来への責任を感じていただき、十分に力を発揮してほしいと思います。

市民の期待は大きくふくらんでいます。市民の皆さまにまちの将来に希望を実感していただけるよう、それぞれの施策を柱となる政策に照らしながら進めていただきたいと思っています。

着実に焦らず手堅く、そして時に大胆に取り組んでください。

◆市政改革の会◆

今、市民負担増の「下水道・農村集落家庭排水使用料改定」を認めることはできず反対

二度に渡り下水道・農村集落家庭排水施設使用料改定が提出された。その目的は、これら特別会計の「独立採算の原則」と「一般会計から特会への繰出し抑制」とされ、一回目の使用料値上げ案は委員会で否決。議員からは、①市民への周知・説明不足（参加者7人）。②農村集落家庭排水施設会計はほぼ独立採算できており、下水道会計は目的税である都市計画税や交付税で賄えており、引上げ理由がない。③財政シミュレーションが不十分。④使用料上げ率が低利用者が高く設定。⑤近隣市町で一番高い使用料になる、など述べられた。

市は、市民への説明不足については「今後どう

したことがないようにする」と述べたが、再提出では履行されなかった。H21年の使用料引上げは3度に渡る広報記事と、3中学校区で説明会が開催され、小浮市長が掲げる「市民一丸」の有言不実行が露呈した。

2回目の案は④⑤は考慮されたが、それ以外は手つかずだった。
高齢化や施設の老朽化を理由に、一般会計からの繰出し抑制の必要性を強調するが、市民の暮らしにはまったく無頓着。介護保険料、後期高齢者医療費、健康保険料で約2万3千円負担増、年金支給額は5千7百円削減。消費税増税が見送られる状況下で、市民負担増を認めることはできない。



行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が質問に立ちました。その内容については次のとおりです。（文責は各議員にあります。）

一般質問

熊本地震をうけて豊明市の住宅耐震の取り組みは
豊明市の障がい者雇用促進と企業誘致の考えは

早川 直彦 議員

問 本市では昭和56年5月31日以前の旧耐震基準の木造住宅を対象に耐震診断を実施し、判定値が1・0未満の木造住宅について、耐震改修工事費用の一部を補助している。耐震改修工事促進のため補助額を上げる考えは。

答 将来的に居住の見通しなど、費用面以外の理由から耐震改修しない家庭もある。当面、現状の補助額を維持するが、耐震改修促進は引き続き研究する。

問 昨年12月議会的一般質問で平成12年5月31日以前に建設された木造住宅にも十分な耐震性がなく倒壊の恐れがあることを説明した。熊本地震において、平成12年5月以前の耐震住宅に該当する建物が被害にあっている。無料耐震診断の対象にする考えは。

答 現時点では考えていないが、新耐震基準や補助制度の見直し等あれば、

問 市職員の障がい者雇用率を増やす考えは。

答 雇用率は2・55%で法定雇用率2・3%を上回る。障がい者雇用促進の立場から、引き続き採用試験を実施していく。

問 市外から、積極的に障がい者雇用を進める事業所を誘致するのか。

答 就業機会に恵まれない精神障がい者雇用する企業であれば検討したい。

今後、国土交通省の対策について調査研究する。

問 3年連続して耐震シエルター補助金利用がない。防災ベッドや耐震テールに変えてはどうか。

答 耐震シエルターは比較的安価に設置でき、高齢者などの部屋に設置することで地震時の安全空間が確保でき、有効な手段と考えている。防災ベッドや耐震テールへの補助は考えていない。

問 豊明市の障がい者雇用と企業誘致の考えは？

◆緑の風◆

議案第64号 財産の買入れ（食器洗浄機）について賛成
議案第74号 平成28年度豊明市一般会計補正予算（第2号）について賛成

中央調理場への食器洗浄機買入れについてです。説明では、百九クラス分の食器を現状百二十四分で洗浄していたものが購入後は、百六分で洗浄できるようになるとのことでした。今までは、職員が手洗いしてから洗浄機に入れていたのが、買い替え後は、職員の手洗いなしで最初から洗浄機に入れるとの説明でした。時間の短縮と人件費の削減ができてよいように思います。しかし、これまで、ごくまれに汚れたまま翌日教室に食器が戻ってくるということがありました。今度からは、職員の手洗いなしで全部機械がやることになりました。汚れがついたままの食器が教室へ戻ってくるのではないよう、チェック体制をしっかりとっていたらどうかお願いをします。

次は、補正予算第2号のうち、唐竹小学校への道徳教育の研究委嘱と双峰小学校へのキャリア教育の研究委嘱の委託料33万3千円についてです。文科省は、2015年3月に道徳を特別な教科として格上げする小中学校の新たな学習指導要領を告示しました。新しい道徳の授業の小学校の開始である2018年度は、2年後ですので、今回の唐竹小学校の道徳研究は、非常にタイムリーだと言えます。唐竹小学校の研究結果が、市内全校に広まりますことをお願いして賛成といたします。

◆日本共産党◆

議案第66号に反対。
議案第76号に賛成。

議案第66号豊明市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について反対です。この条例には非常災害対策や入所者の定員が29人以下ということ以外

具体的な運営の基準が書いていません。現行の条例には定期巡回の担い手について看護師等、事業所ごとに置くべき従業者の職種や経験年数の条件も明記しています。それに比べると議案は介護サービスを守るものになっていないと思います。国の一方的な介護サービス切り捨てから市民を守るためにも条例に具体的な基準を書くべきです。

◆清澄◆

豊明市役所出張所移転案に反対
下水道使用料改定案、水上太陽光発電事業開始案に賛成

豊明市役所出張所の機能を、現行の豊明市立図書館から豊明市立南部公民館へと移転する案について、南部方面の方々の要望をとっていないこと、土曜・日曜の開館時間のうち、12時から13時まで

その他の使用者においては引上げる案について、一般会計から下水道特別会計への基準を超えた繰出しは、早急に解消されるべきと判断し賛成。

水上太陽光発電事業を開始する案について、リスク回避判断を迅速に行うこと、事業で得られた収益を広く市民福祉の向上に充てていただくことをお願いし賛成。

一般質問

通学路の安全対策について 「子育て応援アプリ」について

近藤 千鶴 議員



問 過去にも質問させていただいたが、通学路の環境の変化に対して小学生の命を守るために対策が必要と考えます。そこで通学路の点検の現状について伺います。

答 平成24年5月から7月に、各小学校の通学路において教育委員会、学校、警察、道路管理者等が連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容について協議、対策をしてきた。引き続き通学路の安全確保に向けた取り組みを行うため、関係機関の連携体制を構築し、豊明市通学路交通安全プログラムを策定した。

問 通学路の整備の推進状況について。

答 毎年8月31日までに提出の区長土木工事要望等により整備を進めている。児童・生徒の安全を確保するため、通学路の整備を優先的に実施している。

問 通学路の整備の今後

の取り組みについて。

答 今年から定期的に協議会を開催し安全対策を進めていく。

問 「子育て応援アプリ」について

答 妊娠前から小学校就学前までの子育て家庭を対象としたスマートフォンで気軽に子育て支援情報が、効果的に得られるアプリの開発を要望します。子育て家庭の不安軽減、施設事業の利用促進、孤立化の予防など、子育て支援につながると考えます。本市の考えは

答 現在情報を手に入れる手段は、広報、ホームページ、子育て情報誌、メール配信がある。ネウボラとしては子育て支援を実施しており、コーディネートナーの配置も行っている。子育てアプリについては、少しハードルが高いが様々な条件を勘案しながら研究していきたい。

一般質問

農村下水の不明水対策を 企業誘致は周到に取り組め

後藤 学 議員



問 農村下水の流域接続と不明水対策

問 境川流域下水への接続の時期、損益は？

答 平成33年度より供用開始したい。統合により年間約1千9百万円の効果額がある。

問 不明水（下水に浸入する雨水・地下水等）が許容量の3倍ある。これによる県への負担金は？

答 年間1千3百万円程度と考えている。

問 宅内の升等やマンホールの穴からの流入、地下水位の浅い沓掛地区南の浸入水調査・対策は？

答 検証しながら考えていきたい。

産業立地推進計画

問 企業アンケートの結果で地価への関心が高いが、企業庁は平米あたり1万数千円という。地元に入ってくるのか。

答 丁寧な説明し理解を得たい。

問 健康長寿産業の集積を強調しているが、根拠はあるのか？

答 藤田保健衛生大学と協議している。

問 工場用地の整備は信用や技術のある企業庁にお願いしてはどうか？

答 企業庁・民間も同様にやっていきたい。

南海トラフ地震に万全の備えを

問 震災対策に組織的・計画的に取り組むためにアクションプランをつくってはどうか？

答 目標を立て、やるべきことはやっていきたい。

問 市の計画に低コストの耐震化工法をPR・普及するところがあるが、やっているか？

答 PRは難しいが、工法の提案をしていく。

問 市の被害予測で死者60名だが、ゼロにする施策・対策は？

答 家屋の耐震化、家具の転倒防止とと思っている。

一般質問

児童・生徒の体力・学力向上について 家庭教育力向上について 信頼される学校教育を推進するために

近藤 善人 議員



問 児童・生徒の体力学力・向上について、平成25年3月議会で質問しましたが、2年間の間どのような取り組みをして体力は向上したのか。

答 ともに投げる力が弱いので、ドッジボール・ドッジビーなど業間に行っている。1年中ではないが、マラソン・大縄跳びをしている学校もある。そういう取り組みを各学校に広めていきたい。

問 学力向上と生活習慣改善についてはどのような取り組みをしたか。

答 入学説明会・PTA総会・学校通信などで家庭教育の大切さを伝えている。また、朝学習時に読書、漢字や算数のドリルに取り組み、読み書きの力を養うことや基礎学力の向上に努めている。

問 家庭教育力向上で「家庭教育支援チーム」設置の考えは。

答 家庭教育学級を幼稚園・小中学校に設置して

大いに活用している。現状の体制で対応できていると思うので家庭教育支援チームの設置は考えていないが、他市町の事例を研究し、より良い家庭の教育力向上に努めていきたいと思う。

問 信頼される学校教育を推進するために、教職員の不祥事防止に係る教育委員会や学校での取り組みは。

答 教育委員会としては、県教委から通知のあった内容を校長会議で伝え、不祥事撲滅に向けた意識の高揚を図っている。学校現場では、「信頼される教職員であり続けるために」というフレーズを全教職員に配布、新たに28年度からは3年目研修を実施している。

問 講師の採用については、県・市へ登録している内容、教員の資格・勤務状況・経歴などを参考に面接し、優秀な教員を講師に採用している。

一般質問

大金星のまちとよあけのPRについて 情報戦略について

清水 義昭 議員



大金星のまちのPR

問 大金星のまちとは。

答 桶狭間の戦いからイメージされる大金星を新たなキャッチフレーズとし、今後の観光事業を展開していきたいということを決めた。

問 桶狭間の合戦があつたまちを、車に貼りPRできるステッカー、マグネットシートを提案する。

答 試験的实施に向けて一回検討したい。

問 原付1種、2種乙、2種甲の登録状況は。

答 平成27年7月1日現在、合わせて4525台。

問 前記原付3種類の平成28年度の軽自動車税引上げによる増収額は。

答 400万円強。

問 軽自動車税を引き上げたこのタイミングで桶狭間の合戦のデザインでご当地ナンバープレート提案する。

答 始めるタイミングなどを研究していきたい。

情報戦略について

問 情報システム部門の人材の育成、確保について伺う。

答 情報システム部門の人材教育、人材確保には多少の課題がある。

問 数年前に情報システム部門を課から係としたがその評価は。

答 弱体化による情報施策の遅れの感否めず、新たな情報経営判断が必要になると認識している。

問 行政情報化の体制は。

答 ICT施策の重要性や情報セキュリティインシデントの影響の大きさを考慮すると、それに対応する組織整備の検討時期に入ったと認識する。

問 アプリ作成の体制を整えてはどうか。

答 ICTコンサルに職員のスキルアップのための教育支援などを委託しており、専門家の技術や知識を活かす中でアプリも研究していきたい。

一般質問

安心安全のまちへ

地域での子育て支援、介護予防・認知症対策について

三浦 桂司 議員



震災・豪雨対策

問 地域が独自に指定している一時避難場所にも食料などは支給されるか。

答 指定の避難場所以外に避難している人を調査し、救援物資を届けられるように定めている。

問 小・中学校のキャンパスに、避難所開設の疑似体験など防災キャンプを試みてはどうか。

答 メニューが一杯で取り入れるのは難しい。

問 豪雨は地震と違い避難勧告が出しやすい。どのタイミングで警告や避難命令を出すのか。また、同報無線はどのようなに考えているか。

答 上流で大雨が降った場合、豊田、みよしを含めて打ち合わせ会議を持っており、下流の市町に連絡がある。河川の流量などが判断材料の一つだ。無線は聞こえない場合があり、区長から各戸に連絡する形などを考えたい。

地域での子育て支援

問 小学校低学年、保育園児の二子どもがいる場合、それぞれ送迎が必要である。学区ごとに、地域の人たちなどの力を借りて、空き家を利用して児童を預かる考えはないか。

答 民間等で空き家の利用は、国の示す放課後健全育成事業に該当すれば補助金が交付できる。

介護予防・認知症対策

問 予防事業で、まちかど運動教室を始めたが、男性の参加者が少ない。対策は考えているか。

答 地域の方向士で声をかけていただきた。

問 徘徊対策として、靴底に入れ、スマホなどで居場所を確認できる装置等への補助は考えないか。

答 バイコードを靴や杖に貼る安価なものもあり効果的なものであれば前向きに検討していきたい。

一般質問

より魅力ある図書館にしていけるために

ふじえ 真理子 議員



問 図書館の目的は。生涯学習の中核、地域文化の拠点として誰からも愛され、親しまれる施設でなくてはならない。市民が必要とする図書資料を収集整理し、迅速に提供していくことが重要。

問 現在約1400万円の図書購入費を10年前の約2千万円近くに戻す方向に向かっているか。

答 できれば増やしたいが予算的な部分もあり、今後研究していきたい。

問 図書貸出カードへの登録率は市全体の19・4%（H26）となっている。この数字をどう見るか。

答 わりと高いかと思う。2階の学習室は夏休み中やテスト週間になると中高生の利用で満席に。今後エアカンが設置されていく各学校の図書室を一般開放していく考えはある。学校運営上の課題もある。今すぐ実現は難しいが研究させていただきたい。



年間23万人以上が利用する図書館

問 5、10年後の図書館全体のサービス計画と、目標への達成度をはかる指標が必要ではないか。

答 数値化して経年変化を検証する必要がある。教育大綱の中で定めている内容が重要なポイントと考えている。

問 定員適正化計画に書いてある、H31年度の図書館民間委託については。

答 図書館の歳出の半分は人件費。他施設と異なり利潤を出すことが困難な施設であり、指定管理者制度にはなじまない。窓口業務については民間委託にしていける方向。

一般質問

大規模な地震が起きた場合の対策を求めて

郷右近 修 議員



問 避難所となる学校などに100トン規模のタンクを設置して、飲料水を確保するべきではないでしょうか？

答 避難所敷地内に飲料水用のタンクを設置することは大変望ましいが、設置費用が非常に高額で少し難しい。市で備蓄しているものでは足りないと考えており、二村配水場の水をうまく利用したい。供給については、小分けにした形も考えないといけないと思っている。市民が運ぶ訓練は想定していないが、訓練しておくことは必要であり、どう積み込むかといったことも検証しなければならぬ。

問 下水管に直接設置できるマンホールトイレを増設し、公衆衛生を維持するべきではないでしょうか？

答 現在マンホールトイレ用の便器は各避難所に1カ所、1つずつ用意を



問 災害時の協定は障がい者施設や高齢者施設と行っているが、施設を利用している方の宿泊がどの程度可能なのか、1回綿密に協議した上で考えていきたい。

問 障がいを持つ方が避難所や福祉施設に避難する際の受け入れ体制を強化するために市として援助をするべきではないでしょうか？

答 災害時の協定は障がい者施設や高齢者施設と行っているが、施設を利用している方の宿泊がどの程度可能なのか、1回綿密に協議した上で考えていきたい。

一般質問

ふるさと納税の実績と本年度の取組みはマンホールによる市街地美化について

近藤 裕英 議員



ふるさと納税の実績と本年度の取組みは

昨年ふるさと納税の見直しを実施して、想定より多くの皆様からご支援いただきました。しかし他市町も工夫をしてみえまうので、更なる施策が必要と考えます。

問 昨年の寄附実績は。

答 寄附件数1506件、寄附総額約2280万円でした。

問 現在協力いただいている事業者数と、特徴のある返礼品は。

答 14事業所の協力をいただき、特徴としてプレミアムラーメンや中京競馬場の特別観覧席券があります。また体験型として藤田保健衛生大学病院の人間ドックも調整しています。

問 カラー化（着色）したマンホールのフタを、豊明市のふるさと納税の返礼品にできませんか。

答 桶狭間の戦いがあつ

た豊明をPRできる品です。ので、寄附の趣旨を考慮した中で検討します。



マンホールによる市街地美化について

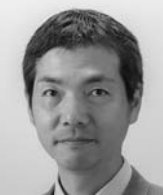
問 豊明市の汚水マンホールは、桶狭間古戦場の戦いをデザインしたフタが使われています。このフタをカラー化（着色）して、市街地美化＋観光アイテムとして活用しませんか。

答 1カ所試験的にやってみよう。「大金星のまち豊明」をPRしていくためにも、少しではあるが計画を持って、継続的に進めていくように検討します。

一般質問

水上メガソーラー来年3月発電開始へ

富永 秀一 議員



問 水上メガソーラーの今後の見通しは。

答 予想より遅れたが5月15日に地元の同意を得た。遅くとも来年の3月には売電が開始できるよう進めていきたい。

浸水しやすいのは沓掛中周辺、豊明駅南部

問 県が作成した、境川が破堤した場合のシミュレーションの確認は。

答 県の河川課を訪問した。沓掛中付近、豊明駅の南部が浸水しやすいことがわかった。避難情報を出す際の参考にしたい。

問 大型台風など大災害が予想される際、段階的に備えを進められるよう



沓掛中学校周辺

計画しておくタイムラインの作成は。さらに震災後の行動を定めた震災タイムラインを作っては。

答 特に台風などの予測可能な災害には大変有効と考えている。南海トラフ地震の場合は、他からの支援は期待できないので自己完結型、直下型の場合は被害が甚大である可能性が高いので人命救助最優先の行動計画にすべきと考えている。

雨水タンクに助成を

問 断水時はトイレ用の水の確保にもなる雨水タンクに対し多くの自治体が助成しているが。

答 一度考えてみたい。

保育ママ等が可能に

問 待機児童解消策としての保育ママ、小規模保育等の進捗は。

答 そうした家庭的保育事業の認可手続きに関する規則を制定した。ホームページ等で周知したい。

協同の学びについて実践されているが、その結果は児童・生徒に大きな影響を与えるので注視していく必要がある。

問 協同の学びが目指すものは何か。

答 対話型コミュニケーションを通して、互いに学び合うという教育的な機能を引き出して、学びの質を高めていく。

問 教育委員会・学校が合意形成されているか。

答 豊明の教育にも事業として記載されており、また、教育委員会でも議決を得ている。

教育委員会制度について

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され公布された。教育委員会制度はどのように変わるか。

答 教育委員の互選で選ばれていた教育委員長と教育長を廃止し、首長が直接任命する新教育長に

一本化された。また、首長主催の総合教育会議の設置を義務づけて、首長の権限も強化された。

問 教育の政治的中立性、継続性、安全性は確保されるか。

答 首長が総合教育会議で教育大綱を定める。大綱の中に政治的中立性、継続性、安定性に問題となる事項については、協議の対象にするべきでないとしてされている。

安全・安心なまち豊明市の構築のために

問 勅使墓園のトイレの洋式化について。

答 洋式化へ改修が可能かどうか調査・検討する。

問 学校グラウンドのフェンスかさ上げについて。

答 今年度は三崎小学校を行う。今後必要がある学校について改修する。

問 小学校での水やお茶の備蓄について。

答 各学校に備蓄できるように検討していく。

一般質問

第5次豊明市総合計画の中より 今から10年間でこなう 豊明市の女性が活躍できるまちづくり

近藤 郁子 議員



多くの市民の力を結集し豊明市の特色と市民ニーズを踏まえ、第5次豊明市総合計画（今後10年間の目標が策定された。その中より問う。

問 女性の活躍促進のための具体的な事業は？

答 10年間で女性が職場や地域で活躍し続けるための環境整備を進める。具体的には職場や地域で女性が活躍する場を増やすため、市内大学と連携して保育士有資格者の復職や子育て支援員を目指す人への研修会を実施する。妊娠・出産・子育てのワンストップ事業も実施していく。

問 第一歩として開催されたシンポジウムの参加者のアンケート結果は？

答 「ややよかった」が半数を超えていた。会場では「市内には女性の活動団体も多い。個別に点での活動が線になれば大きな成果が期待できる」との意見もあり、会場の

一体感の醸成を感じた。市も後押しをしていきたい。

問 コミュニケーション力が災害復興の力になると聞いた。初年度にあたり、市として女性の活躍はどう考えているのか？

答 シンポジウムでは女性のコミュニケーション能力を活用したまちづくりが大事だという話もあった。それぞれの団体の得意分野を活かし、線で結ばれたとき大きな力となり、成果が市や地域に還元されると感じている。

問 そのために市がリーダーシップをとることはできるか？

答 他市には、女性の団体を結ぶ、女性団体連絡協議会が発足し、活躍している。本市においても横の連携を担う団体の出現に期待している。行政も側面的に支援できることは支援していくという形が一番よいと思っている。

問 区画整理事業完了後の交通量に対して事前の対策は？

答 事業完了後、交通の流れや交通量に変化が生じた場合、実情を早急に精査し対応していきたい。

問 朝夕の阿野ふれあい会館周辺の対応は？

答 生徒児童に対する交通安全では、市が雇用する交通指導員1名を相談の上で認識が一致すれば指導場所を変更して対応することも可能。

問 上流域から流れ込む水質調査について。

答 阿野川・正戸川は土日を含めた毎日環境パトロールを実施。仮に有害物質が分析結果に出たら、県と共同で広報や記者発表をしていく。

問 平成24年公共下水道へ区域外流入の条例改正をしているが継続した件数は？

答 平成27年度末が21件で、確認申請を出される時に隣接する下水道管の

位置等を説明し対応している。

問 小中学校の避難訓練はどの様な想定で行って、地域の特性等の考慮は？

答 実際に地震体験した教員の声をもとに訓練計画を作成して実施している。震度想定は6弱等学校によって違う。第1次避難は自分の身を守り、その後校舎の外へ避難する。地域性より、行動の習慣化を目指している。

問 小学校と中学校の違いとして、小学校は上履きがバレーシューズ、中学校はスリッパの違いがある。ガラスの飛散防止フィルムも設置予定との事ですが、中学校は避難時に適さないスリッパではないか？

答 成長期の中学生はすぐに足が大きくなってしまふ。サイズに融通の利くスリッパと考えている。危険はあると考え、今後、研究していきたい。

一般質問

1 協同の学びについて 2 教育委員会制度について 3 安全・安心なまち豊明市の構築のために

杉浦 光男 議員



議会日誌

5月

17日 議会運営委員会

18日 埼玉県朝霞市議会議員

行政視察来訪

23日 全員協議会

会派会議

正副委員長会

議会運営委員会

豊明市議会議会改革推

進協議会

30日 議会運営委員会

議会だより編集委員会

31日 全市議会議長会定期

総会(東京都)

6月

6日~28日 6月定例会議会

6日 会派会議

7日 愛知県競馬組合議会臨

時會

14日 議会だより編集委員会

17日 議会運営委員会

22日 議会運営委員会

会派会議

豊明市議会議会改革推

進協議会

28日 議会運営委員会

全員協議会

29日 愛媛県四国中央市議会

議員行政視察来訪

7月

7日 議会だより編集委員会

14日 議会だより編集委員会



議場コンサートを開催します

■日時

平成28年8月29日(月)

午前9時~午前9時30分

(開場 午前8時30分)

■場所

豊明市役所4階本会議場

■内容

星城高等学校フラスバンド部

星城ジャズ・サウンス・ユニットに

よるミニ演奏会

※議場コンサート終了後、午前10時より本
会議を開催します。

議会報告会を開催します

■日時

平成28年11月19日(土)

午後7時~午後9時

(午後6時30分受付開始を予定し
ています)

■場所

中央公民館ホール(市役所隣接)

※詳細は11月1日号をご覧ください。

9月定例会議会の開催日程(予定)

8月29日(月) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

8月31日(水) 本会議(一般質問)

9月 1日(木) 本会議(一般質問)

9月 2日(金) 本会議(一般質問)

9月 5日(月) 本会議(一般質問)

9月 7日(水) 本会議(議案質疑・委員会付託)

9月8日(木)・9日(金)・12日(月) 決算特別委員会

9月13日(火) 総務委員会

9月14日(水) 福祉文教委員会

9月15日(木) 建設消防委員会

9月26日(月) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※ 本会議・委員会とも午前10時より開かれます。

上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121

※次回の議会だよりの発行は
11月1日です。